

平成24年3月26日
第2回三条市こども未来委員会
資料1

すまいる子どもプラン (平成23年度1月末実施状況)

平成24年3月26日
三条市教育委員会子育て支援課

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

1 ハッピー子育てプロジェクト

施策 1 子育ての不安感・負担感の緩和

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	プレママ・プレパパ教室の実施	子育て支援課	<p>妊娠期から夫婦で子育てをすることや健康づくりを推進するため妊婦とその夫を対象に健康教室(エンジョイパパママ教室)を定期的に行う。</p> <p>■実施回数 2回を1コースとして年間6回(各月実施)実施 ■対象者 妊娠期の夫婦を対象として初産・経産を問わず対象 ■内容 妊娠期からの健康づくりと家庭教育の推進</p>	<p>《受講目標》 受講率17%(前年度の約5%増加)を図る。(H22年度パパとママの子育て学級受講率は12.6%)</p> <p>※保育ルームや仕事帰りでも参加できるよう夜間休日等の開催時間の工夫を行う。</p>	<p>参加者から毎回アンケートを実施 日程は土曜午前実施は9割、金曜夜実施は6割が今のままでよいと回答している。 参加率は第1コースが12.7%第2コース11.1%と減少傾向にあるが、初産夫婦の参加率は両コース共23%以上となっており、4～5組に1組の割合で参加されている。経産夫婦の参加率は少ないが、ニーズがあり、育児ルームも利用されている。</p>	<p>現在の父親母親が育った時代は少子化が進んだ時期で、赤ちゃんと接する機会がほとんどなく、自然に子どもの発達や子育てについて知る機会がない。特に父親が参加する機会のごく限られているため学ぶ機会が必要。0歳時期は親子の絆を築く大切な時期であり、出産直後から夫婦で話し合い、協力しながら安心して子育てができるよう育児に関する情報提供をすると共に親としての自覚を促す内容の充実を図る。</p>
2	子育て出前講座の実施	子育て支援課	<p>各団体・グループごとに、子育て・子育てなど希望するテーマについて講師を派遣し、学習機会を提供する。</p>	<p>《開催数目標》 3回 (H22年度実績 2回)</p>	<p>《実施回数》 1回 ■開催日 12月12日 ■内 容 親子クッキング ■参加者数 大人8人、子11人</p> <p>※2月16日に2回目の出前講座を実施予定</p>	<p>継続して実施する</p>
4	父親の子育て応援事業の実施	市民窓口課 子育て支援課	<p>父親の子育て参加を促進するため、イベントを開催する。 (市民窓口課と子育て支援課との共催事業)</p>	<p>父親の子育て参加を促進するため、第7回ひとひとフォーラムを開催する。 ■日時 平成23年11月予定 ■講師 安藤哲也さん(ファザーリング・ジャパン代表)</p>	<p>父親の子育て参加を促進するため、第7回ひとひとフォーラムを開催した。 ■開催日 11月26日 ■講師 安藤哲也さん ■参加数 42名(内男性19名)</p>	<p>■H21年から父親の育児参加をテーマに事業を実施していたが、このテーマで3年をすぎたことから、来年度からは違うテーマで講演会を開催する予定である。 ■参加者を増やすため周知を徹底したい。</p>

【継続事業】

No	事業名	担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
2	子育て講座	子育て支援課	参加者がそれぞれに抱えている悩みや関心のあることをグループで出し合って話し合いながら、自分にあった子育ての仕方を学ぶ「Nobody's perfect講座」を開催する。	—	≪実施回数≫ 2回 ≪参加者数≫ 25人	継続して実施するとともに、実施回数については、年4回程度予定しており、参加者の増加に努めたい。
3	家庭教育講演会	子育て支援課	保育所等の幼児期から小学校就学時、中学校就学時における子育ての不安を解消するための方法や基本的なしつけ、楽しく子育てするための心構え、思春期の接し方などを学ぶ家庭教育講演会を保育所に入所している児童及び小中学校に入学する児童の保護者を対象に実施する。	≪開催目標数≫ ■保育所・園 29か所 1,100人 (H22年度実績 21か所 813人) ■小学校 24か校 900人 (H22年度実績 24か校 849人) ■中学校 9か校 850人 (H22年度実績 9か校 661人) ≪満足度目標≫ 95% (H22年度実績 92.3%)	≪開催数≫ ■保育所・園 28か所 984人 ■小学校 24か校 836人 ■中学校 9か校 883人 ≪満足度≫ ■保育所・園 92.6% ■小学校 93.5% ■中学校 87.7% 計 91.5%	継続しての実施及び参加者数の増加に努める。
4	父親の家庭教育講座	子育て支援課	父親が子育てについての理解を深めるため、すまいるランドにおいて父親のための家庭教育講座を開催する。	≪講座参加者数目標≫ 100人 (H22年度実績 70人) ※参加者が出席しやすいように、産業カレンダーの休日に講座を実施するなど参加者が増加するよう努める。	≪実施回数≫ 2回 ≪参加者数≫ 51人	講座の回数を増やすとともに、父親が参加しやすい日程での実施に努める。
11	サンキッズカード事業	子育て支援課	多くの子どもを育てる家庭を地域ぐるみで応援する機運を高め、子育てしやすい環境づくりに寄与するため、協賛店舗の拡大に努めるとともに、加入者数の増加を図るため、未加入者への通知を行う。	≪目標≫ ■協賛店舗数 410店 (H22年度実績 400店) ■カード交付枚数 1,500枚 (H22年度実績 1,419枚) 協賛店については、広報で募集するほか、チェーン展開している店舗などを中心に募集をかける。 また、カードの交付については、カード未取得の世帯に対し、発行のメリットやカード利用者の声などを同封した案内を送付するなど、カード交付枚数の増加に努める。	≪協賛店舗数・カード交付枚数≫ ■協賛店舗数 398店 ■カード交付枚数 2,560枚	■継続して実施する。 ■協賛店舗数・カード交付枚数の増加を目指す。

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

1 ハッピー子育てプロジェクト

施策 2 親子が気軽に集える場づくり

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	子育て支援センターの拡充	子育て支援課	H23年4月より市内で7か所目となる保内保育所子育て支援センターを新たに開設し、子育て中の親子が気軽に集え、ふれあえる地域の子育て拠点施設として開放している。 また、その他の支援センターについても、子育て講座の充実及び施設の充実を行うことで、より利用しやすい子育て支援センターの運営に努めている。	子育て支援センター・すまいるランド連絡会議をH23年度も開催し、施設間の連携及び職員の資質向上を図る。	子育て支援センター・すまいるランド連絡会議については、今年度2回開催し、子育て支援センター及びすまいるランドを中心とした配置図「子どもの遊び場マップ」を作成。 また、すまいるランド及び子育て支援センターのパンフレットを作成中。	担当者間における情報交換や研修会への参加や先進地視察により、新たな事業の企画、立案をすることで、より多くの方から利用されるよう努める。

【継続事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
2	すまいるランド	子育て支援課	親子が安心して集い、語り合い、交流し、相談する場としてすまいるランドを開設し、各種イベントや子育て講座、相談、休日一時保育等を実施する。	《目標》 ■利用人数 60,000人 (H22年度実績 59,802人) ■各種講座 300回 (H22年度実績 287回) ■休日一時保育 60日 100人 (H22年度実績 51日 92人)	《実績》 ■利用人数 47,414人(1月末) ■各種講座 181回(1月末) ■休日一時保育 40日 69人(1月末)	■継続して実施する。 ■利用者のニーズに合った運営に努める。

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

1 ハッピー子育てプロジェクト

施策 3 子どもの健やかな成長への支援

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	幼児期からの生活習慣病予防の啓発	健康づくり課 子育て支援課	幼児期からの生活習慣病予防のために、各集団健診の場を活用し、肥満予防をはじめとした食生活など正しい生活リズムをつけることの重要性の普及を図る。また将来、生活習慣病のリスクが高いことが予測される子どもに対しては個別指導を図り、改善を促す。	《啓発回数目標》 72回 ■各種健診 60回(5回×12か月) ■相談会 12回(1回×12か月) (H22年度実績 72回)	1歳6か月児・3歳児健診において、栄養士による集団指導及び保健師・栄養士による個別指導を実施。 2歳・2歳6か月児歯科健診において、保健師・栄養士による個別指導を実施。 【集団指導】 年間24回のうち、20回実施 2,693人に対し指導を実施 【個別指導】 113人に対し指導実施	生活リズムや食生活が乱れる傾向にある。健全な発達発育を促し、幼児期からの生活習慣病を予防するため、生活を改善する必要性についてパンフレットを活用し啓発していく。
2	生活習慣(早寝、早起き、朝ごはん)定着の啓発	健康づくり課 子育て支援課	保育所での子育て講座や、小学校就学時健診等を活用し、生活習慣定着のパンフレットを配布し、説明することにより、保護者等の生活習慣定着の意識高揚を図る。	《目標啓発回数》 74回 ■保育所・園の子育て講座開催時 29回 ■小学校就学の子育て講座開催時 24回 ■小学校就学の子育て講座開催時 9回 ■3歳児健診時 12回 (H22年度実績 43回) 《朝食をとる割合の目標値》 ■4～5歳時 100% (H22年度実績 4歳児 97.8%、5歳児 99%)	《啓発回数》 81回 ■保育所の子育て講座開催時 28回 ■小学校就学の子育て講座開催時 24回 ■中学校就学の子育て講座開催時 9回 ■1歳半児健診時 10回 ■3歳児健診時 10回 《朝食をとる割合》 ■4歳児 96.8% ■5歳児 98.3%	保育所食育講座や給食試食会などでの保護者講話を活用し、さらに朝食の大切さについて啓発していきたい。

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

1 ハッピー子育てプロジェクト

施策 4 子育て情報発信の充実

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	子育てポータルサイトの実施	子育て支援課	現在の子育て家庭は、インターネットから子育て関連の情報を得る率が高いことから、子育てポータルサイトを活用し、子育て関連の情報発信に努めることで、親同士の情報交換の活性化や子育て関連の情報提供を充実させる。	《アクセス数目標》 50ページビュー/日 (H22年度実績 20ページビュー/日) ※健診時や保育所・小学校を通じて周知チラシを配布するとともに、サイト内容の充実を図るなど、アクセス数の増加に努める。	《アクセス数目標》 23ページビュー/日	子育てポータルサイトの管理については、H24年度から、NPOさんじょうへ移管されることとなるが、行政側の子育て関連の情報については、今までどおり更新作業を行うなど、サイト管理への側面支援を継続して行う。

【継続事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	子育てガイドブック	子育て支援課	子育て支援に関する情報を整理し、その情報をわかりやすく掲載した子育てガイドブックを発行する。	—	保護者の要望を取り入れ、保育所や幼稚園の施設紹介コーナーを掲載するなど、内容を充実した。 また、今年度より裏表紙及びその裏面に広告を掲載し、歳入の確保に努めた。	継続的に内容の充実に努める。
2	子育て通信	子育て支援課	市の子育て支援関連情報をより気軽に入手できる子育てメールマガジンを発行する。	—	子育て関連のイベントや期別のトピックスなどを掲載したメールマガジン「(仮称)子育て情報メール」を、平成24年4月発行に向けて、準備中	H24年4月発行を目指し、制度構築及び事業周知に努める。

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

2 未来を拓く学びプロジェクト

施策 5 幼児教育の推進

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	小中一貫教育の推進	小中一貫推進室	義務教育9年間を連続した期間ととらえ、発達段階に応じた一貫性のある学習指導・生活指導を行うとともに、教職員や児童生徒が連携・交流を深めることにより、小・中学校が協働して系統的・継続的に教育活動を行う。	H25年度の小中一貫教育完全実施に向けて、モデルカリキュラムの作成や検証、中学校区ごとの推進計画の作成、実施とともに保護者、地域に取組を積極的に広報し、理解を深めてもらう。	各教科等モデルカリキュラム「中学校編」を作成するとともに、昨年度作成の「小学校編」について各中学校区での自校区化を行った。 また、各中学校区小中一貫教育推進協議会を開催し、中学校区ごとに計画的に小中一貫教育の取組を進めた。 各中学校区において「小中一貫教育だより」等を発行し、保護者、地域に向けて小中一貫教育の推進状況などを広報し、理解を深めてもらった。	H25年度の小中一貫教育実施に向けて、これまで、全中学校区で試行を行ってきた取組の成果と課題を整理し、課題の解決等について各中学校区小中一貫教育推進協議会で検討を行う。 また、H23年度までに作成した各教科等におけるモデルカリキュラムの活用を図りながら、各中学校区において、地域や学区の児童生徒の実態等を考慮した授業実践を推進する。
2	幼保小連携の推進	子育て支援課	子どもの育ちをつなぎ、幼児教育の質の向上を図っていくため、中学校区ごとの幼保小連携会議を通じ、幼稚園と保育所(園)、小学校、保育所と保育園間の子ども同士や先生方の交流を進める。	各施設から提出された活動計画に従い、有効な交流活動が実施されるよう助言等を行うとともに、交流活動に使用するバスの調整などを行い、活動がスムーズに実施されるよう支援していく。 併せて、児童の小学校へのなめらかな接続を図るため、「接続期のモデルプログラム」を作成する。	交流活動については、幼保小連携会議を通じて作成した活動計画により実施した。(2～3月の活動もあり) 接続期のモデルプログラムについては、幼稚園・保育所(園)・小学校教職員用として「安心わくわくプログラム」を、家庭版として「わくわくチャレンジ」を作成し、接続期におけるより丁寧な指導に繋げた。	幼保小連携の取組が体系的かつ継続的に行われるよう、幼保小連携会議をより活性化していく必要がある。

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

3 子どもの交流活動プロジェクト

施策 7 放課後活動の促進

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
2	児童・青少年の居場所づくりの検討	子育て支援課	小・中・高校生など青少年の健全な余暇活動や自身の成長と自立を促す自主的な活動を支援するため、「遊び場」「学び場」となる活動の場の設置を検討する。	青少年へのニーズ調査などを行い、その結果を踏まえ、青少年の居場所の機能面について検討を行う。	青少年の遊び場、学び場について、ニーズを把握するため、小・中・高校生を対象としたニーズ調査及び校跡地を活用した公共施設や青少年の遊び場などの視察を行った。 機能面については、ニーズ調査及び先進地視察の結果を踏まえ、素案を検討中である。	青少年の居場所づくりについては、機能の素案を今年度中に定め、来年度については、こども未来委員会や青少年関係団体等の意見を踏まえ、具体的な案を策定する。

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

4 ワークライフバランスプロジェクト

施策 9 多様なニーズに応じた保育サービスの充実

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	乳児保育の拡充	子育て支援課	子育て家庭のライフスタイルの多様ななどにより、乳児保育のニーズが高まっていることから、新市建設計画及び公立保育所民営化年次計画に基づき、乳児受け入れ施設の整備を行うとともに、看護師の配置により受入可能児童数の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ■栄中央保育所の開設による乳児保育の拡充を図る。 ■私立保育園における0歳児保育拡充を図るため必要となる看護師の配置に対し、委託料を加算する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■栄地区の公立保育所において、実施しなかった乳児保育を栄中央保育所を開設した事により、9人の乳児を受入れた。 ■看護師を雇用し0歳児を9人以上受入れた園が、私立保育園において2か所から6か所に増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■H25年に荒沢保育所と名下保育所を統合することで、名下保育所においてできなかった乳児保育の拡大を図る。 ■引き続き看護師配置の委託料加算を継続することで、私立保育園における乳児の受入れ拡大を図る。
3	発達支援保育(学童保育)の充実	子育て支援課	学童保育について、発達支援を要する児童の受入れ数が増えているため、指導員が専門的な知識を取得するための研修等を実施し、発達支援保育の充実を図る。	指導員が発達支援に関する知識を取得するため、専門の講師による講演会、研修会等を実施する。	<p>《研修会実施予定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日時 2月28日、3月7日 ■参加者 児童クラブ職員60名 ■内容 グループワーク、事例研修 ■テーマ 「発達障がい等の児童に対する関わりについて」 	職員研修を実施するとともに、日々の指導の中で自主的に問題意識を持ち、職員間で話し合い、情報を共有しながら保育の質の向上に努める必要がある。
6	保育所の民営化・統合の推進	子育て支援課	H20年11月に策定した三条市公立保育所民営化等年次計画に基づき、民営化・統合を実施する。	<p>H23～26年度三条市公立保育所民営化等年次計画に基づき、次のとおり民営化・統合を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■H24年度の一ノ門保育所、川通保育所の民営化に向け、保護者等の不安を解消するための説明会を開催する。 ■H25年度の田島保育所、荒沢保育所(名下保育所統合)の民営化に向け、委託先法人を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■民営化に関する説明会の実施 ①一ノ門及び川通保育所民営化に関する説明会を開催(各3回) <ul style="list-style-type: none"> 7月 保護者同意 9月 条例改正 12月 引継保育の説明会 1月～3月 引継ぎ保育の実施 ②田島保育所、荒沢保育所民営化(名下保育所統合)に関する説明会を開催(各1回) 	荒沢保育所と名下保育所が統合することから、両保育所の児童が親睦を深め、滑らかに移行できるよう、児童の交流を図る

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

4 ワークライフバランスプロジェクト

施策 10 母子家庭の就労支援

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	高等技能訓練費助成制度の実施	子育て支援課	現に20歳未満の児童を扶養している母子家庭の母親が、看護師や理容師など、専門的な技能の資格取得のため、2年以上養成機関で修業する場合に、修学期間中と終了時に給付金を支給する。 【給付金】 70,500円～141,000(訓練促進費)	《H23年度支給予定》 高等技能訓練促進費 5件 入学支援修一時金 2件	《給付実績》 高等技能訓練促進費 4件	■継続して実施する。 ■制度の周知に引き続き努める。

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

5 子育て応援社会プロジェクト

施策 12 地域全体で子育てを支える仕組みづくり

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	子育て応援運動の実施	子育て支援課	市全体で子育て支援を行う気運を高め、安心して子どもを生み育てられるまちづくりを推進するため、これから親になる方や子育て中の親子に対し、市民、団体、事業者が自分たちでできる思いやりやお手伝いしたい気持ちを言葉と行動で表し、宣言・実行する。	《宣言数目標》 ■個人 500人 ■団体 100団体 ■事業所 100事業所 夏祭りやマルシェなど多くの人が出るイベントや、事業所への個別訪問、団体の総会等での説明会などにおいて事業周知し、宣言数増加に努める。	《宣言数》 ■個人 386人 ■団体 32団体 ■事業所 37事業所 三条マルシェなどのイベントや、団体等での総会等において、事業説明し事業周知に務めた。	継続的に実施する。 また、より多くの団体及び事業所の宣言の獲得に努める。
2	子育て支援フォーラムの実施	子育て支援課	子育て応援宣言の事業内容を広く周知し、運動の機運を盛り上げるため子育て支援フォーラムを実施する。	■実施予定日 平成23年11月頃 ■内容 講演、宣言内容のPRなど	■平成24年3月18(日) 三条おもちゃ&子育て応援フェスティバルの開催準備 ■内容 応援宣言募集及び宣言者紹介、ステージショー、家族写真館 など	来年度、フォーラムは実施しない予定であるが、三条マルシェや各種講演会などのイベントにおいて、事業周知に努める。
3	子どもの権利に関する啓発	子育て支援課	次代を担うすべての子どもの権利が擁護され、意見が尊重される環境づくりのため、子どもの権利尊重に関するチラシなどを作成し、普及啓発を行う。	《啓発回数目標》 63回 ■保育所29回 ■小学校就学児家庭教育講座開催時24回 ■中学校就学児家庭教育講座開催時 9回 ■子育て支援フォーラム開催時 1回	《啓発回数》 62回 ■保育所 29回 ■小学校 24回 ■中学校 9回	継続的に実施する。
4	子育て団体やサークルへの支援	子育て支援課	市全体で子育て支援を進めていくためには、子育て団体、子育てサークルの育成・支援が急務であることから、子育てポータルサイトなどを活用し、団体やサークルの情報発信を支援する。	すまいるランドや子育て支援センターにおいて活動内容の紹介や会員募集を積極的に行い、子育て団体やサークル活動を支援する。	《サークル数》 8団体 子育て団体やサークルの支援については、すまいるランド内に「子育てサークル紹介コーナー」を設置し、市内の子育て団体・情報発信支援を行うほか、H23年6月に子育てサークルを紹介するチラシを作成し、すまいるランドや子育て支援センターの利用者に周知を行った。	子育てサークルが継続的に活動できるよう、紹介コーナーやチラシ等において団体情報を周知するなど、継続的な支援に努める。

【継続事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
5	放課後子どもプラン(放課後子ども教室)	子育て支援課	放課後や週末等に小学校等を利用して地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する。	引き続き、市内10か校において地域の参画による放課後子ども教室を実施する。	《実施校開催回数及び参加児童数》 ■月岡 45回 1,299人 ■三条 59回 1,726人 ■南 42回 1,897人 ■西鱈田 50回 1,132人 ■旭 44回 749人 ■井栗 31回 1,380人 ■大島 14回 244人 ■須頃 26回 586人 ■保内 46回 944人 ■県立月ヶ岡 25回 266人	■常に活動できるスタッフが限られているため、活動日にスタッフが手薄となり運営に支障が生じることがある。 ■安心・安全な運営を行うためにも、新たなスタッフを確保することが課題となっている。

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

6 子ども・若者支援プロジェクト

施策 14 総合サポートシステムの充実

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	総合サポートシステムの充実	子育て支援課	様々な問題で支援を必要としている子ども・若者を幼児期から青年期に至るまで、切れ目なく一貫して、個に応じて必要な支援を総合的に行う総合サポートシステムの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども・若者総合サポートシステムの周知及び啓発 ■子ども・若者総合サポート会議の開催 代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議 ■市民及び関係機関に向けた啓発活動 ■関係機関所属職員等の資質向上を図るための研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども・若者総合サポート会議 各種会議開催 ■関係機関職員を対象とした研修会を開催 全2回(全6日) ■子どもの虐待防止講演会及び発達応援セミナーを開催 ■保育所・園、幼稚園、小中学校等に対し、周知チラシを配付。また中学校での進学説明会で説明 ■支援を必要とする子ども・若者の支援状況の進行管理(虐待ケースについては、3か月に1度開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ■必要な時に必要な支援をタイムリーに受けられるよう、市民、関係機関、実務担当者への周知の更なる充実を図る。 ■ひきこもり等について、これまで以上に中学校や高等学校を通じた保護者等への周知を図り、支援ニーズの掘り起こしを行う。 ■発達障がい等に対し、これまで以上に一人ひとりの能力、適性、発達段階に応じた切れ目のない支援体制を強化を図る。

【継続事業】

No	事業名	担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	すまいるファイル	子育て支援課	子どもに関する記録や情報を保護者の手元で1つにまとめることのできる子育てサポートファイル「すまいるファイル」を配布する。	「すまいるファイル」のさらなる普及や活用を促進するとともに、内容についても見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ■サポートファイルの見直しを行い、「すまいるファイルVer.2」を作成・配布した。 ■保育所(園)・幼稚園・小中学校等を通じて保護者に周知チラシを配布した(年2回)。 ■保護者向け活用方法周知チラシをすまいるファイルとともに配布した。 ■乳幼児健診時の持ち物として案内分に記載することで利用促進を図った。 	さらなる活用の促進を図るため、母子健康事業従事者等に対して、活用方法の周知を図る。

平成23年度三条市次世代育成支援行動計画 実施計画・実施状況一覧

6 子ども・若者支援プロジェクト

施策 15 相談事業の充実

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	(1)実施計画	(2)1月末実施状況	(3)来年度に向けた課題等
1	臨床心理士による「すまいる心の相談」の実施	子育て支援課	子育てについて、様々な悩みを抱えている子どもや家庭に対し、子どもの成長発達に関し、専門的な視点を持つ臨床心理士による相談の場を定期的に提供することにより子育ての不安を軽減する。	<ul style="list-style-type: none"> ■相談日時 毎月1回午後1時～午後4時 ■相談会場 すまいるランド ■相談対象 乳幼児から小学校低学年(原則) ■相談内容 個別相談(要予約1日3組程度) * 必要に応じ関係機関につなぐ 	H24年1月末現在 <ul style="list-style-type: none"> ■実施回数 10回 ■相談件数 29件(1回平均2.9件)実施 保育所・幼稚園等から小学校低学年の子どもの対応についての相談が半数以上を占める。保護者だけでなく、保育士等からの相談もある。	保護者や保育士等からの相談希望が多く、月1回の相談会では対応しきれず、タイムリーな相談ができない場合がある。事前に相談内容を把握するなどし、効率的な相談会の運営を行う。